

## 北海道美唄尚栄高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	1  「生徒一人ひとりを 一層輝かせ成長させ る教育」を行いま す。	(1)資格取得を充実させ、進路実現を目指 す。	農業技術検定は、計画的 に学習し、意識の高揚を 図ることができた。食と 農に関わる知識・理解を 深めることについては、 地域の農業経営者や関係 機関との協力により、適 宜実施できた。	校外への実習活動等は、 日程を調整することがや や難しかったが、学習機 会を増やしていくように したい。	5
	2  「世界と日本をつな ぐグローバル教育」 を行います。	(1)SDGsを意識させ、食の安全と食品ロス 等の問題を解決出来る教育の充実を図る。	科目「農業と環境」や 「食品製造」の授業にお いて、食料生産や、SDGS の考え方を積極的に取入 れた授業を展開した。	環境問題や食糧生産に係 る学習機会を積極的に取 入れるため、外部講師な どの専門家に講演などを 依頼することを検討す る。	5
II 地域社会・産業 に寄与する学校	3  「地域農業の生産を 支える教育」を行いま す。	(1)美唄市近郊の農産物を活用した食品開 発を地域と一体となり人材の育成を図る。	地域の農産物である米粉 や大豆を使用した食品の 商品開発に取り組み、地 産地消に貢献することの 大切さを学ぶことがで きた。	関係機関や地元小学校等 と連携した活動を行う。	5
	4  「地域の農業関連産 業や6次産業化に寄 与する教育」を行いま す。	(1)美唄市近郊の農産物を活用した食品開 発を地域と一体となり人材の育成を図る。	小中学校と連携し、体験 入学等の学校開放時に、 農業学習について理解が 深められるよう取り組む ことができた。	関係機関や地元小学校等 と連携した活動を行う。	5
III 地球環境を守り 創造する学校	5  「地球環境を守り、 創造する教育」を行 います。	(1)食品廃棄物や食品ロスに関心をもち、 SDGSの考え方を取入れた授業を実践する。	科目「農業と環境」や 「食品製造」の授業にお いて、未利用資源や、 SDGSの考え方を積極的に 取入れた授業を展開し た。	環境問題や食糧生産に係 る学習機会を積極的に取 入れるため、外部講師な どの専門家に講演などを 依頼することを検討す る。	5
	6  「地域資源を活用 し、地域振興の拠点 となる教育」を行いま す。	(1)地域資源である農産物を商品ブラン ド化するための研究に取り組む。	美唄市と連携し、食品の 商品開発に取り組むこと ができた。	食品開発が、商品ブラン ド化になるよう継続す る。	5
IV 地域交流の拠点 となる学校	7  「Society5.0の時代 に応じた教育」を行 います。	(1)ICTを活用し、食品製造・販売等の知 識・技術を深めるために、タブレット端末 等を積極的に活用する。	タブレットなどを積極的 に活用し、情報を活用す ることができた。	食品製造や販売実習等 で、積極的にICTが活用 できるよう工夫する。	5
V 地域防災を推進 する学校	8  「地域防災を推進す る教育」を行いま す。	(1)地震や火災等の災害に対して、防災意 識を高めるための取り組みを進める。	防災意識を高めるため、 防災訓練に積極的に取り 組み、実習などで火を取 り扱う場合は火災に対 して十分に注意するなど意 識の高揚につなげるこ とができた。	地震や火災に対して、意 識を高めるよう啓発す る。	5